

— 目 次 —

■ 提言の要約	1
■ I 国の現状と課題	2
■ II 南会津町の現状と課題	6
■ III 南会津町の地域医療体制への提言	10
◎提言1 南会津町における医師確保対策	11
◎提言2 住民と行政の協働による医療体制づくり	12
◎提言3 広域連携による医療体制づくり	13
■ IV おわりに	14

提言の要約

地域でできる医療体制の確保

～南会津町における医師確保への政策提言～

現状

【国】

- ・ マッチング制度導入に伴う、大学医局による医師供給システムの崩壊
- ・ 自由標榜による一部診療科への集中
- ・ 臨床研修医の偏り

【南会津町(県立南会津病院)】

- ・ 常勤医師の不足
- ・ 診療科の制限
- ・ 地域医療への住民の理解不足

課題

【国】

- ・ 地方、特に過疎地域での医師確保
- ・ 小児科、産婦人科等に代表される一部診療科の医師確保

【南会津町(県立南会津病院)】

- ・ 医師確保につながる施策の展開
- ・ 住民との協働による医療体制
- ・ 広域連携による医療体制

目標

医師が来て、医師が働きがいを感じ、医師が住みたくなるまち

提言

提言1

南会津町における医師確保対策

- ①南会津医師育成事業を実施する。
- ②医学教育研修プログラムを拡充する。
- ③キャリアパス事業を実施する。
- ④医師に対する高度研修機会を創出する。
- ⑤休日輪番医制を拡充する。

提言2

住民と行政の協働による医療体制づくり

住民レベルでの医師負担軽減策を実施する。

【具体的な施策】

- ・ 医師と住民との交流事業
- ・ コンビニ受診抑制策
- ・ 住民に対する広報、啓発活動 など

提言3

広域連携による医療体制づくり

- ①会津・南会津医療圏病院間医師応援協定を締結する。
- ②ドクターヘリを有効活用する。
- ③国道121号の早期改良を要望する。

効果

- 1 県立南会津病院への勤務を希望する医師が増え、充実した地域医療につながる。
- 2 地域医療に対する理解と医師の負担軽減につながる。
- 3 住民の負担が軽減され、安心な医療が提供される。